

## 2023 年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 実践ケア賞

おれんじネットフレンズ

【設立年月日】2017年4月1日

### 【授賞理由】

地域住民が容易に参加できる認知症カフェや学習会などの活動を通じて地域の繋がりを深め支え合いの輪を広げることに力を注いでいます。このような活動は認知症と共生する社会を実現するための試みとして高く評価することができます。

### 【団体概要】

「おれんじネットフレンズ」は、地域住民と地域包括支援センターが協力して、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」を目指すボランティア団体です。2017年4月に会員数29名で発足し、現在は介護者、介護経験者、看護師、保健師、介護専門職、一般住民等の44名で構成されています。団体規約に基づき、代表・副代表・会計・監査の役員を置き、事務局はNPO法人地域支援ネットに置かれています。また、各カフェの代表や活動担当者が世話役を担っています。認知症カフェの開催、パートナー活動、認知症に関するイベント、啓発活動、学習会、毎月の例会が主な活動内容です。

### 【事業活動】

#### 1. 認知症カフェ

認知症当事者・家族が気楽に立ち寄れるカフェを開催している。ここは、当事者や介護者が思いを語り合ったり、ケアに関する情報交換をしたりしながら、家庭的な雰囲気の中でゆっくりした時間を過ごす場となっている。

#### 2. パートナー活動

認知症当事者とカフェやデイケア、イベントなどに参加し、楽しみながら活動している。

#### 3. 啓発活動

市中での認知症啓発活動のリーフレット配布、「RUN 伴」への参加などで、認知症について地域の方に広く知っていただく活動を実施している。

#### 4. 例会・学習会

毎月第三月曜日の午後に例会を実施。カフェなどの活動やイベント予定などの報告や確認、認知症に関わる学習会の時間など、会員間の情報交換や交流の場としている。

### 【業績等】

2025年には65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人が生活することは、その人だけでなく家族にも大きな変化をもたらします。

私たちの団体は、地域の人々が認知症について理解し、家族やパートナーなどすべての人々が支え合うことを目的にしています。そのために認知症カフェを運営しており、介護者や家族が気持ちを話す場として利用できます。また、会員は認知症について学び、自分に何ができるか考え、自宅カフェを開いたり、認知症のある人と共に活動する場所を作るなど、地域に浸透する活動を行っています。地域住民に認知症についての理解を深める学習会も開催しています。今後は、コロナ禍で休止していた地域包括支援センター等との協力による啓発活動も再開予定です。